

令和3年8月25日（水）
2学期始業式

驚く人になろう

学校長 下村 昌弘



しんざん だいたく りょうだ しょう
深山大沢 龍蛇を 生ず

校長 下村 昌弘

○ 全校の皆さん。おはようございます。

○ 夏休みはいかがでしたか。今朝、皆さんが登校する様子を見ながら、このひと月ほどの間に、皆さんがまた一段とたくましくなったような気がして驚いています。

-
- わずかひと月ちょっと会わなかっただけですが、いい意味でも悪い意味でも、若い皆さんは短期間にすぐに変わるものなのですね。その成長ぶりをとてもうれしく思います。
 - 夏休みに変わった人も変われなかった人、いろいろいるでしょう。でも、大丈夫です。2学期はこれからです。しっかり気持ちを切り替えて新しい学校生活を送りましょう。
 - また、皆さんの中には宿題ができていない人もいないでしょうか。あるいは、家族や友達とけんかして悩んでいる人、心穏やかでない人もいるかもしれません。
 - でも、大丈夫です。そんなことは時間が解決してくれます。たいしたことではありません。今日は、夏休みに区切りをつけて登校できたことを、まずはみんなですぐに喜びたいと思います。これからの2学期を前向きに、明るく、健康的に生活を送っていきましょう。

- さて、ここからが本題です。今日は「牛肉とじゃがいも」の話をしましょう。「牛肉とじゃがいも」と言えば何でしょう？ 「ポテト付きのステーキ」ではありません。「カレーライス」でもありません。
- 今日の話は、明治の小説家、国木田独歩が書いた「牛肉と馬鈴薯」（明治34年11月）です。



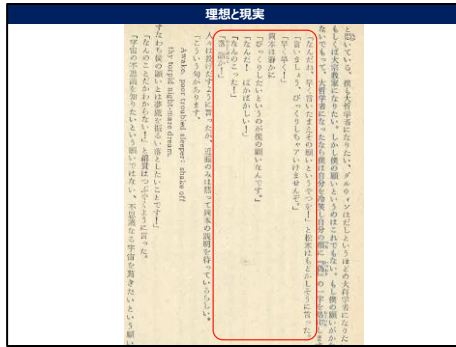
- もし読んだことがある人がいれば、これまたすごいなあと思います。

○ この物語は、簡単に言うと「理想（自分が考える最高の状態）に忠実（まじめに求め続ける）であろうとすれば、当然、貧しさに耐えねばならない。つまり『馬鈴薯（ジャガイモ）』（貧しい食事のイメージ）しか食べられない。しかし、理想をあきらめて現実に妥協（おりあいをつけて多少ズル）しながら生きていくなら、そのうち『牛肉』（高級な食事）にもありつける」そんな話です。

牛肉と馬鈴薯 (じゃがいも)	
理想を求める → 貧しさを我慢 (馬鈴薯)	じゃがいも
現実に流される → 妥協して生きる (牛肉)	だきょう

- つまり「牛肉と馬鈴薯」とは「現実と理想」の意味なのです。皆さんもちょっと想像してみてください。「理想を求めて貧しい生活を続けるか」、「理想をあきらめて適当に金を稼いで生活をするか」。こうした議論をする若者たちの姿がこの小説には描かれています。

- その物語の中に、貧しさを嫌がらずに理想を追い求めようとする「理想主義」でもない、理想をあきらめて現実に流されて生きていく「現実主義」でもない、そのどちらでもない、岡本という名前の青年が登場するのですが、彼は「自分にはたった一つの願いがある」と言うのです。
- 「その願いが叶わないのなら、生きていても何の価値もない、それほど切実な願いだ」と彼は言うのです。そのくだりを紹介します。



「何だね、早く言いたまえ、その願いというやつを！」松本はもどかしそうに言った。

「言いましょう。ビックリしちゃあいけませんぞ」

「早く、早く！」

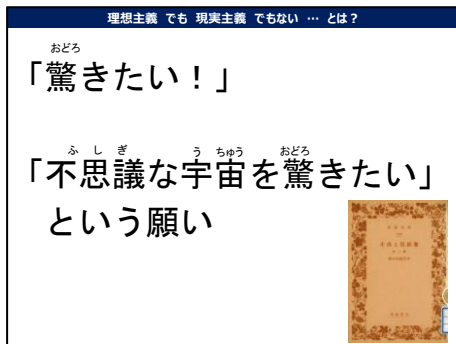
岡本は静かに、

「びっくりするというのが僕の願いなんです」

「何だ！ ばかばかしい！」

「何のこった！」

「落とし噺か！」人々は投げ出すように言ったが、……

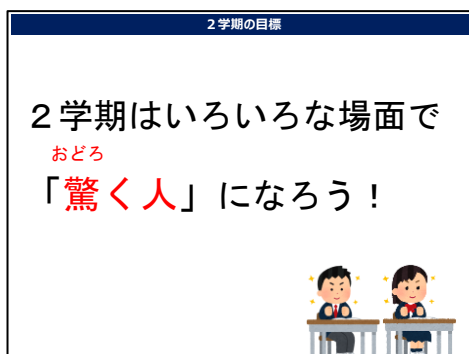


○ 岡本という青年は、この世界の不思議に「驚きたい」と願っていたのです。この世界は不思議に満ち満ちているのに、人々は驚きもせず、平気な顔をしている。それは「驚く」ことを忘れ去っているからだと言います。

○ 彼は「宇宙の不思議を知りたいという願いではない。不思議なる宇宙を驚きたいという願いです！」とも言っています。

○ 人はなぜ「問う」のでしょうか。それは言うまでもなく「不思議に思う」からです。世界の不思議に驚くことがなければ、人々は何一つ疑わないでしょうし、疑いがなければ、なんの「問い」も生まれません。驚くことは全ての「問い」の源泉です。

○ 今日から2学期が始まります。9月には体育大会、10月には修学旅行、バス旅行、文化発表会。秋から冬にかけては学習面でも最も充実する時です。




○ 皆さんには、いろいろな場面で「驚く人」になってほしいと思います。それが皆さんの心をきつと豊かで大きなものにしてくれると思います。

- 「驚く」。この感覚を大事に、2学期も勉強にスポーツに頑張ってください。
- 長くなってすみません。最後になりますが、新型コロナウイルスへの対策についてお願いします。
- 今日は、新学期のスタートに当たり、「中央校は一丸となってコロナウィルスから身を守るのだ！」という意識を新たにしたいと思います。
- 特に、これからしばらくの間は、自分の健康状態をきちんと知っておいてください。「熱はないか」、「身体の調子はいいか」、「ごはんはおいしく食べられているか」などなど。

中央校一丸となってコロナウィルスから身を守る


みんなが・家族全員が
「検温」と「健康確認」



- それから、家族の方にも「検温」と「健康確認」を、皆さんからもきちんとお願いしておいてください。中央校全体が安心して安全な学校生活を送れるようにするために、家族の健康もチェックする必要があります。

中央校一丸となってコロナウィルスから身を守る

- 1 マスクを正しくつける
- 2 手指の消毒をこまめにする
- 3 人と人の距離をしっかりとる
- 4 換気をしっかりとる




- そして、次に言うような、これまでやってきた「新しい日常」を、いい加減ではなく、きっちり、しっかりやっていきましょう。
 - 1 マスクを正しくつけること
 - 2 手指の消毒をこまめにする
 - 3 人と人の距離をしっかりとること
 - 4 換気をしっかりとること

中央校一丸となってコロナウィルスから身を守る

注意！

- 1 グループワークなど**近距離**での活動
- 2 近距離で一斉に**大きな声**を発する活動
- 3 **換気の不十分**な場所での密集・密接する活動

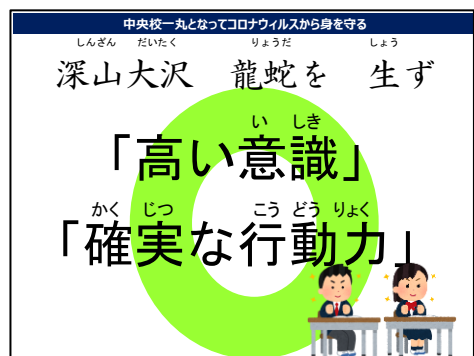


- また、学校でも例えば次のような活動には最大限の注意を払います。
 - 1 グループワークなど近距離での活動
 - 2 近距離で一斉に大きな声を発する活動

3 換気の不十分な場所での密集・密接する活動



- くわえて、「コロナに関わるいじめや差別は絶対に許さない」。このことも今一度胸に誓ってください。



- いずれにしても、最大限の緊張感をもちながらも、今日から楽しい学校生活を再開したいと思います。「深山大沢龍蛇を生ず」。皆さんは全員が将来大物にならなければならない人物です。

- 皆さんの「高い意識」と「確実な行動力」を期待して、2学期始業式の話とします。